

昭和三十二年度第二年度 同 同 同 同 同 同 同 同
 隊ニ命遣ヲ命ス
 依テ十二月十八日十三時迄本部ニ集合シ中村少尉ノ指揮
 入ルベシ
 三 第四中隊 陸軍一等兵 鈴木昌
 右者陸軍經理學校ニ命遣ヲ命ス
 依テ十二月十九日出發一月十日十二時迄東京都北多摩
 郡永平村陸軍經理學校到ルベシ

同 同 同 同 同 同 同 同
 列 青 西 松 安 水 廣 林 松
 山 尾 岡 藤 野 場 井
 子 政 兼 敏 冬 一 朱
 郎 功 已 男 雄 雄 治 正 春

命令 報

十二月十八日一六〇〇
 昭和三十二年十一月十七日

一 昭和三十二年度第二年度兵科下士官候補者教育八明十八日
 高宮城ニテ實施セラル 依ツテ各隊ハ十一月二十七日、下士官候
 補者分遣ニ關シテハ、連ニ基キ準備セラル度
 個人裝備ノ外細部ニ關シテハ、連ニ指示ス
 從來襦袢左胸入上際ニ附シアル
 取捨セラレ度

昭和三十九年七月十八日 石第五九六部隊副官

各隊長殿

首題ノ件ハ記ニ據リ專修員トシテ各隊長ハ
專修員ヲ差出シ教育ニ受テシメテ取中進傑ス

左記

一 專修期日及場所
自十二月二十二日 至十二月二十四日 赤兵第六十四隊團長ノ定メ場所(別命)

二 監督官 赤兵第六十四隊團長

官 獨立歩兵第三大隊 中島少尉

三 專修員

教育主任 將校中隊(中隊)長各一名
配属部隊 班長一名

四 集合日時場所

七月二十一日 十四時迄 本部隊前集合

五眼裝及携行品

八眼裝、軍裝ニシテ被甲ヲ除ク

五五五携行品

毛布ニ磁石 夜光羅針 分度器 携行測遠器 呼子笛

通信紙 手眼紙 飯盒 日用品若干

或ハ作業衣袴又ハ兵服ヲ携行スルモノトス

六階營給養

被團長指定ニ部隊之地位スルモノトス(別命)

七其他

各隊ハ十月十五日迄ニ専修員官氏名ヲ報告スルモノトス

十一月十九日

一陣地掃蕩

豊火曜

大隊前日引續キ築城作業ヲ實施ス

高名腰

在支中、空軍ニ因リ別紙石十五情第四九號ノ如シ

情報

日之命令

殺位進級ノ張ニ因リ別紙石九六日命第一六號
ヲ下達ス

會報

別紙石九六會第一四一號ヲ下達ス

視五

部隊長前日引續キ、各隊初度進
行實施シテ、終了既ス

追及

遠藤大尉石十五作命第一九號ニ基キ、既隊入

勤務七 本日、勤務員

日直 得枝 坂井少尉

巡察 得枝 宇野少尉

日 下官 本日軍曹

内務 衛兵 天倉係

防空 監視 伊藤係

対海 監視 松島係

日直 下士官 宮下曹長

規 員八 本日、規員

人員 飯塚少佐以下七名

馬山 日馬 日

石九六日命一六〇號
三五九六部隊日々命令
十二月十九日一六〇號

軍事秘報

石十五情第四九號

十二月十九日
〇九四〇

一 情報ニヨレバ本十九日四時三十分在支米空軍

B29成都ヲ出發滿洲方面一向ヒアルモノ如シ

二 在世博九洲南西海面河地區九時四十分空襲

警報發令セラル

散

石九六日命一六〇號

石第三五九六部隊日々命令

計二月十九日一六〇號

陸軍少尉

敘正八位

任陸軍准尉

球第一四七三九部隊

陸軍中尉

陸軍曹長

(昭和十八年三月十八日)

陸軍中尉

吉野 慶 坂本 敏 林石 信 白子 政 金登 北村 風 分 尾 淺部 宇野 末木 義 末木 義 保 條 良 重 美 藏 雄 吾 恒 郎 郎 男 中 三

勤務七 本日勤務員

日直待技 坂井少尉

巡察待技 宇野少尉

日 下官 本日軍曹

内務衛兵 天倉 隊

防空 伊藤 隊

対海 監視哨 松島 隊

日直下士官 宮下 曹長

組員八 本日現員

人員 飯塚少佐以下七九名

鳥山 日鳥 日鳥

四 左ノ通リ本部日直並部隊巡察將校ニ服務スベシ

十二月二十日	川邊	見習士官	小石原	見習士官
同 二十一日	山本	少尉	高瀬	准尉
同 二十二日	石田	中尉	横井	准尉
同 二十三日	奈良	少尉	千葉	准尉
同 二十四日	三輪	大尉	齊藤	准尉
同 二十五日	香椎	中尉	神谷	見習士官
同 二十六日	白石	少尉	宮田	准尉
同 二十七日	浅尾	少尉	金山	准尉
同 二十八日	坂井	少尉	林山	少尉

五 第三中隊 陸軍曹長 岩崎圓次
 陸軍上等兵 堀内長廣
 陸軍一等兵 戸島治一
 陸軍衛生兵 米田敏清
 右者死没者(知念三等兵)屍衛兵トシテ本十九日ヨリ一泊二日ノ豫定ヲ以テ沖繩陸軍病院ニ出張ヲ命ス

六 機關銃中隊

陸軍伍長 上田正太郎
 陸軍上等兵 藤谷長次夫
 陸軍一等兵 鈴木五夫
 同 名古莊一
 同 高田繁太郎

右者死没者(仲村渠二等兵)屍衛兵トシテ本十九日ヨリ一泊二日ノ豫定ヲ以テ石第五三五部隊ニ出張ヲ命ス

右者明二十日師團ニ於テ實施セラル。暗號掛下士官集合教育被教育者ヲ命ス
 依テ本十九日出發該部ニ到ルベシ
 第三中隊 陸軍一等兵 山田久吉

石兵團製杖所要員ヲ命セラル
 依テ明後二十一日九時出發シ師團經理部ニ到リ經理部長ノ區署ヲ受クベシ
 服裝ハ軍装トシ昼食携行トス (石作命丁第六ニ號)

石丸六會第一四一號

會日

報

十二月十九日一六〇
富名 勝

一、松島隊二等兵知念保勝ハ流行性腦脊髄膜炎、爲入院中本十九日
 二、山内隊二等兵仲村榮榮儀ハ赤痢、爲入院中本十九日野戰
 病院ニ於テ病死ス
 三、地上補備施設用茅芒竹筭ハ左記取得基準ニ據リ各隊ニ於テ直
 接區長ト連絡シ上取得セラレ度
 追テ取得上ハ速カニ品目数量取得區ヲ經理本員ニ通報ノコト
 左記

品	取得		摘要
	目單位	數量	
竹	本	一〇〇	中經一寸以上
茅	把	四〇〇	
品	目單位	數量	摘要
	把	二〇〇	茅把代用スルコトヲ得
	本	五〇	

十二月二十日	晴水曜	富名曜	情報	日々命令	視察
一 陣地構築	大隊の前日に引續き築城作業の實施ス	一 在支米空軍に關シテ、別紙石十五情第五〇號、如シ	一 在支米空軍に關シテ、別紙石九六日命第一六一號ヲ下達ス	轉送及張ニ関シ別紙石九六日命第一六一號ヲ下達ス	四 部隊長に、方巻に伊藤隊天倉隊陣地ヲ視察シ、一四〇級隊ス

勤勞五本日、勤勞員

日直將校

川邊見習士官

巡察將校

小石原見習士官

日直下士官

田本伍長

内務衛兵

直轄小隊

灯臺監視哨

伊前隊

灯臺監視哨

孤島隊

日直下士官

中西軍曹

現員六本日、現員

人員

飯塚少佐以下七九名

馬正

日馬

事極秘

石十五情第五〇號

速報 (石運報ニヨリ)

昭和十五年十一月二十日
石第三五九六部隊

一軍ノ通報ニヨリ本二十日在支米空軍B29出撃

ノ算アリ

注意ヲ要ス

勤
務
五
本
日
勤
務
員
曰
直
得
技
川
邊
見
習
士
官
山
石
原
見
習
士
官

石九六日命第一六一號

石第三五九六部隊日々命令

第一中隊 陸軍一等兵
第二中隊 陸軍上等兵
第三中隊 陸軍上等兵
第五中隊 陸軍兵長
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
陸軍一等兵 陸軍一等兵 陸軍一等兵
陸軍一等兵 陸軍一等兵 陸軍一等兵

計名二十日一六〇

山本光雄 小西定雄 小野澤勇 堤野政三 大藤廣藏 大藤忠吉 永井鶴一 青木信市 池上長雄 柴原辰雄 大野勇男 杉原勇男 清水勇男 山本勇男 喜多清二 南久之助

第一中隊 陸軍衛生一等兵 澤 寺 尾 初 雄
 第五中隊 同 田 正 八
 第二中隊 陸軍上等兵 榎 田 正 八
 右者第十二野戰補充隊工兵隊(戊第一二六五部隊)轉屬(八月一日附)

第一中隊 陸軍一等兵 河 村 茂
 右者頭書中隊編入ヲ命ス
 依テ八月三十日石十五日命第五六號第五項ニ依ル轉屬ハ取消

陸軍少尉 八 木 本 友 作
 右者師團會報參列ノ為明二十日即日歸隊ノ豫定ヲ以テ師團司令部 出張ヲ命ス

陸軍軍曹 十 本 田 忠
 陸軍兵長 山 本 光 次 郎
 陸軍一等兵 杉 本 信 男
 同 村 本 信 郎
 同 小 倉 信 郎
 同 小 倉 信 郎

右者陸軍一等兵平良蒲松尾備兵トシテ本二十日即日歸隊ノ豫定

五 第二中隊 陸軍上等兵 田 中 正 太郎
 右者中隊復歸ヲ命ス
 依テ最近便ニ依リ歸還スベシ

十日一日 晴木曜	一 陣地構築 大隊ノ前日ニ引續キ築城作業ヲ當テ施ス
富名呼 報	二 敵機動部隊ニ関シテ別紙石五清第五號ヲ如シ
戦備ノ度	三 二八五五号海軍全地区ニ警戒警報発令サレ内號數 備トナレ
日々命令	四 教育派遣ニ関シ別紙石九六日命第六六號ヲ下達 ス
會報	五 別紙石九六會第一四二號ヲ下達ス
視察	六 部隊長ノ前日ニ引續キ九〇〇号倉庫陣地 並ニ火砲陣地ヲ視察サレ七〇〇号隊

追 及 七 小川上等兵一四。追及ス

勤 務 八 本日、勤務員

日直將校 石田中尉

巡察將校 横井准尉

司 下士官 石河軍曹

夕務衛兵 淺尾隊

対空 伊藤隊

対海 監視哨 松島隊

日直下士官 外崎曹長

規 負 九 本日、規負

人員 飯塚少佐以下一。名

馬止 日馬 四

石十五情第五一號

情 報

十二月三十一日

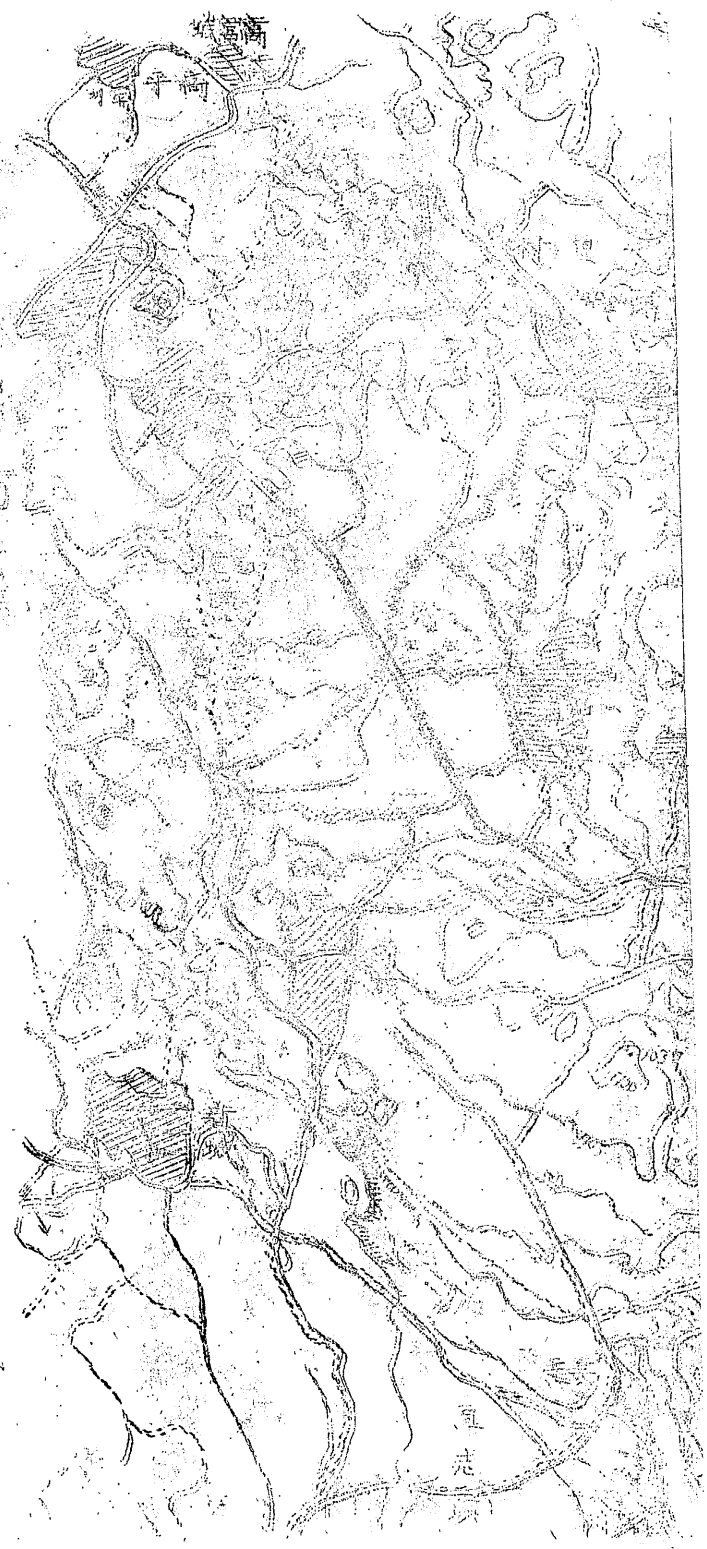
一 台湾軍ノ情報ニヨレバ航空母艦ヲ含マサル敵大機動部隊ハ

本ニテ日夕マニラ東北方向約五五。料附近ヲ西進中ナルモノ如ク

右ハ上陸部隊ノ疑ヒアリ

二 本ニテ日一八一五台湾軍全地域ニ警戒警報發令サレ

三 各部隊ハ監視ヲ嚴ニセラレ度



石九六日命第一六一號

石第三五九六部隊日々命令

十二月二十一日 六時

- | | |
|--------|-------|
| 陸軍 大尉 | 遠藤 與造 |
| 陸軍 少尉 | 淺尾 金造 |
| 兵科見習士官 | 小石 京政 |
| 陸軍 少尉 | 宇野 義美 |
| 同 | 林 四郎 |
| 兵科見習士官 | 多田 幸次 |
| 同 | 神谷 武助 |
| 陸軍 少尉 | 山上 貞治 |
| 同 | 小池 正男 |
| 陸軍 中尉 | 藤田 貞男 |

旅團ニ於テ實施サレル推進奇襲普及教育專修員ヲ命ズ
 依テ明ニテ一日六時ニ分迄ニ本部ニ集合シ遠藤大尉ノ指揮ニ
 ヲテ時迄ニ旅團ニ至リ該教育ヲ受クベシ
 細部ハ石十五枚第一號ニ據ル他ニ萬五分一地圖(島尻附
 近)及疑暗眼鏡代用トシテ防塵眼鏡(ガラス面ニ墨ヲ塗布)ヲ
 携行スベシ

陸軍上等兵 棚川梅雄
陸軍一等兵 中西良雄
右者第一項教育間專修員得令トテ隨行ヲ命ズ

石九六會第一四二號

會日

報

十二月二十一日 二六〇
富名 腰

- 一 留守名簿調製要領ニ關シ指示スルヲ以テ各隊内務係ハ
明二十日十時迄ニ本部ニ集合シ副官ノ指示ヲ受クルモノ
トス
追テ本二十日配布セル留守名簿ヲ調査ニ就テヲ研究ノ上持
參ノコト
- 二 爾後伐木ニ關シ丸太切出シニ當リテハ切取り後、殘部(木株、枝
葉等)ハ立木所有者ノ所有ニ歸スルモノトシ各隊ニ於築城偽裝
燃料等ニ充當セバ速カニ使途、品種、數量、所有者ヲ經理委
員ニ通報スルモノトス
- 三 明後二十日經理室ニ於テ十二月分俸給ヲ支給スルニツキ受領サレ度

上月二十二日
晴後雨

一陣地積雲

大隊の前日引續キ築城作業ヲ實施ス

金曜

富名腰

ニ 戰備ノ度

九二五丙號戰備解除セル

日、命令三

勤勞ノ因ニ別紙石九六日命第一六三號ヲ下達ス

陸軍兵長 梨亦小之助

將校傳令ヲ免ス

會 報四

別紙石九六會第一四三號ヲ下達ス

教 奇五

越進奇襲教育ヲ為遠時大尉以下十二名ニ六三〇
方免ス

會 日六
一〇〇〇〇〇〇内務係會同、實施シ副官ヨリ留守名簿

調製ニ因シ指示セラレハシ。解散ス

勤 勞 七
本日、勤勞員

日直將校 山本少尉

巡察將校 高瀬道村

日 下官 棚田伍長

内務衛兵 松田隊

対空 伊藤隊

対海 監視哨 松島隊

日直下士官 伊藤曹長

現 員 八
本日、現員

下員 飯塚少佐以下七八名

島正 日島 四

石九六日命第一六三號



石第三五九六部隊日々命令
十二月二十三日 天
富名 天

一、機關銃中隊 陸軍兵長 梨木小之助

將校傳令ヲ免ス

二、本部附 石田中尉、傳令ヲ山内隊ニ於テ明ニ三日ヨリ服務カ
セシムヘシ